



山岡 幹雄 議員

愛西市の策定計画の状況は

質問

今まで作成した計画の数は、計画を策定するために委託を行っているが、その委託料の査定方法はどのようになっているか。

企画部長

市が計画をした本数は46本で、法令で定められた計画が35計画ある。法令で根拠がない計画については11計画ある。

委託料は、ヒアリングの時点で、その計画が本当に必要であるかないかを確認し、職

質問

員でできる部分はないのか聞き取りをして、その中で、時間や専門的知識が要る場合に委託料を計上している。

企画部長

計画を作成するのに印刷製本費だけで出来ないか。

予算査定で、ヒアリングを行い、計画策定に当りプロジェクトチーム、作業チームを立ち上げ、経費の削減は図っていく。

質問

それぞれの計画について検証を行っているか。

企画部長

有効性評価の中で、ロジックモデルシートを使って検証している。

質問

第1総合計画で、国と県との関連計画があるか。

企画部長

国や県が補助金、交付金などを出す事業を精査し実施していく。

質問

愛西市の課題はどのようなものか。

企画部長

自主財源の確保と企業誘致、観光振興だ。

質問

市の財源確保について、どのように検討しているか。

企画部長

企業誘致は、優遇制度の検討に入っている。また、観光資源を活用した観光事業の展開により、自主財源の確保を考えている。

質問

財源確保に、三重県、岐阜県の企業で愛西市を通る企業の誘致とか、水郷地帯を利用した企業誘致が出来ないか。

経済建設部長

市を通る企業の把握はしていないが、県に確認し情報

得たい。水郷地域を利用した企業の誘致は調査して行いたい。

質問

愛知県に職員市町村サポート制度という制度があるが、市は行う予定があるか。

企画部長

県と協議をしながら前向きに進めていきたい。

その他の質問

・市の職員の状況

